

暗い音楽をより暗く聴く！

休日の朝、暫し戯言にお付き合い願います w

1. 伝アルビノーニ（実は、Remo Giazotto 1910-1998 による偽作）：「アルビノーニのアダージョ ト短調」(9:49)

ヘルベルト・ケーゲル / ドレスデンフィル (1970's? Dresden)

(英 Delta DC10101)

※「右手に指揮棒、左手に拳銃。男ケーゲル何処へ行く」…あの世に逝ってしまわれました！（ケーゲルの自死の事情には諸説ありますが）

2. グリーグ：ペール・ギュント第2組曲より「花嫁の略奪とイングリットの嘆き」(4:37)、第1組曲より「オーセの死」(5:48)

セルゲイ・リアビニン / サラトフ音楽院 so. (1978 Russia)

(米 Selectmedia SCHBCGR01J)

※「Selectmedia」というアメリカのレーベルは、我国で言えば以前の「学研」のような、教育関係の映像資料を専門とする会社のようなようです。それにしても、このようなロシアの超ローカルな演奏（3も同じ）をどうやって集めたのでしょうか？

3. マーラー：交響曲第1番ニ長調「巨人」第3楽章 (12:11)

セルゲイ・ヴラジエフ / ツーメン so. (1975 Russia)

(米 Selectmedia SCHBCMA01J)

※暗い、息の詰まりそうな演奏の彼方に、夢のような美しさが見えて来るような来ないような（笑）

4. ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調 Op.95「新世界より」第2楽章 (13:27)

クラウス・テンシュテット / ベルリンフィル (1980.04.18-20,22 Berlin)

(東芝 EMI TOCE-9685)

※我が国では「家路」という歌詞が付き、すっかりキャンプファイヤー始まりの唄という長閑なイメージが定着しています。しかし、実はこれ絶望的に暗い曲であったことを痛感させる演奏です（単に指揮者がイっちゃってるだけかもしれませんが）。

以上、大野真澄